



# ちばりは ニュース

2011年12月 発行 第7号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005  
千葉市緑区菅田町1-45-2  
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857  
ホームページアドレス  
<http://www.chiba-reha.jp/reha/reha.html>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

## 理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

## 基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



平成23年4月に開設しました！

# 高次脳機能障害支援センター

## 私たちは、あなたが街で暮らすための応援団

生活の様々な場に馴染めず、辛さを抱えているこうした状態は、社会生活への不適応状態と言えます。このような不適応状態を少しでも軽減して、その人らしい生活が出来るようにするには、①その人自身の適応力を高める②周りの環境(人は最も重要な環境要素です)をその人が過ごしやすいように整える③不適応状態に陥っている人たちの実態を多くの人たちに知ってもらい社会や制度を変えていくことが大切です。支援センターはこうした仕事を進めていきます。



高次脳機能障害支援センターのスタッフ

### 社会適応集団活動



### 相談支援

高次脳機能障害でお困りの当事者・ご家族の相談を受けします

### 委員会等



県内外の関連会議に出席し、支援拠点機関である千葉リハの活動報告等を行います

### 広報啓発 研修会開催等



- 高次脳機能障害支援に関する活動を、多くの皆さんにお知らせしています



# 高次脳機能障害 支援センター

### 地域支援

地域のサポーターと一緒に当事者を支援していきます

### 業務の体制化



多くの支援機関で、高次脳機能障害者支援に活かせるように、千葉リハで蓄えてきた支援技術をわかりやすくまとめていきます

### 調査・研究等



支援を必要としている高次脳機能障害者の実態等、調査研究を進めていきます

### 家族会支援



同じ障害で悩む当事者や家族を支えている家族会の活動に協力しています

## 相談支援

- ご本人、ご家族の希望を伺いニーズを整理していきます。ニーズに対して個別支援計画書を作成し、目標達成に向けた道筋を提案します。
- その他様々な生活のしづらさの原因を明らかにしつつ、医療・介護・福祉・教育・就労等の関係機関と連携し支援にあたります。



### 高次脳機能障害に関する相談窓口のご案内

相談受付は相談室にてソーシャルワーカーが対応しています。

受付時間：月～金(祝日は除く) 9:00～17:00

**043(291)1831 (相談室)**

## 集団活動

- 目的別の集団活動を通して、当事者が“社会参加に必要な力”を高めることを目指したプログラム展開をしています。そして家族が良き理解者であり最も身近な支援者となれるよう活動の場を提供しています。
- 集団活動参加者と御家族を含めた個別面談を定期的に行い、支援の進み方や今後の方向性を確認しています。



### 週一回の活動

#### 働くためのグループ

リハビリ出勤中・休職中・求職中の人で、職業準備訓練に取り組む前に、仲間を大切にしながら作業を進め、仲間の経験に学ぶ体験を重ねていきます。

#### 伝え合うためのグループ

働いていたけれど、コミュニケーションがうまくいかず辞めてしまった・自分が考えていることや今の気持ちがうまく表現できず家族や友人とぶつかることが多い人たちが、伝えたいことを上手に表現するための活動を通して、お互いに仲間として解り合う楽しさを体験していきます。

#### ガーデニング

気持ちの切り替えがうまくいかない・自信がなく訓練に取り組む気持ちになれない・身体を使った作業を楽しみと思えないといった人たちが、自分のペースにあわせて土や野菜・草花に触れて楽しむ活動です。「たのしい」体験を積み重ねていきます。更生園(障害者支援施設)と合同で活動しています。

#### 職リハ体験活動

更生園の支援メニューと一緒に体験しています。自分の思いを正確に語る・状況全体を把握して最も大切と思うことを他人にわかるように説明する・他人の思いから自分と共通性を発見し共感する等、職リハの作業訓練というよりも、働くための仲間との関係を学ぶことを目指して参加しています。

### 月一回の活動

#### 家族の集い

当事者への支援だけでなく、日々の生活を共にする家族もまた、様々な悩みや不安を抱えて過ごすことが多いものです。「こんな時、他の家族はどんなふうに対応しているんだろう?」そんな機会を作って障害の話や日常生活での留意点などを話題にします。支援を必要としながらも、ご家族が当事者の最も身近な応援団になっていかれることが、この活動のねらいです。親子の集い・配偶者の集い、と分けて開催しています。

#### 集団活動通院支援

生活の自立度を、もう一つ上げることで、社会適応度がグンと増す。そんな人を対象に、支援センタースタッフが近くの駅からリハセンターまで自力通院できるよう計画を立て、同行して安全性や確実性を一緒に見ていきます。現在2名の方の同行支援を経て、単独通院ができるようになった方は1名です。

#### 若者の会

福祉作業所・一般企業就労・在宅生活だけで特に日中過ごす場はない等、様々な生活スタイルの若者達が、月1回集まっておしゃべりを楽しんだり、千葉リハビリテーションセンターのイベントで喫茶コーナー「ぶう」を運営したりと、同じ高次脳機能障害を持つ仲間達とふれあう場になっています。

## 地域支援・家族会支援



●誰もが自分に合った生活を選ぶことができ、生きがいを持ち安心して暮らせるように、市町村の支援者と連携して高次脳機能障害者の生活を支える地域づくりに貢献します。

県内どの市町村にでも出向きます。中心になる支援者はその人が生活する地域のどこかの機関です。しかし、「高次脳機能障害に対する基礎知識もないし、支援の仕方もよく分からない。

地域の他の支援者や専門機関の職員と連携しながら進めていきたい」といった要望には、出来る限り応えていきます。



ご本人・御家族を含めた連携会議に参加したり、高次脳機能障害を持つ人たちへの支援のプログラム作りに参加して、高次脳機能障害者も含め、希望する誰もが生活できる街づくりに協力しています。

●家族会主催の交流会や集団活動のプログラム実施など、充実した家族会運営が図られるように、要請に応じて協力していきます。

## 広報紙発行・研修会開催・他機関との協働事業・調査研究事業等

●NPO VAIC-CCIとの協働事業で、ボランティア活動（社会参加）を実施しています。毎年事業報告会を開催してきました。高次脳機能障害者の新しい形の社会参加の有り様として注目されている活動です。



●年3回発行しています。支援拠点機関としての千葉リハセンターの動きや支援センターのご案内、全国の動きなどを掲載しながら、関係者に千葉リハの高次脳支援事業全体の活動を発信し続けていくつもりです。現在県内だけでなく、全国の支援拠点機関にも千葉県の高次脳支援の事業を発信しています。



### 公開講座を開催しました

7月9日に第11回千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座を開催しました。今回は当センター設立30周年記念ということで例年にも増して力が入った公開講座となりました。

午前の部では「千葉リハビリテーションセンターの現在と未来」というテーマで当センターの過去の取り組みや将来を見据えた新たな取り組みが紹介されました。

午後の部では横浜市総合リハビリテーションセンター顧問の伊藤利之氏、日本リハビリテーション連携科学学会理事長の奥野英子氏、千葉県健康福祉部医療整備課長の山崎晋一郎氏をお招きし、当センターの理念でもある「誰もが街で暮らすために」というテーマでシンポジウムが行われました。

地域リハビリテーションに精通した3氏の貴重なお話に会場は大いに盛り上がりとともに、これから当センターの果たすべき役割を再認識する公開講座となりました。



## 第21回センター夏祭りを開催しました



太鼓と盆踊り



ボランティアの方々による  
ふれあいコンサート



職員による仮装大会

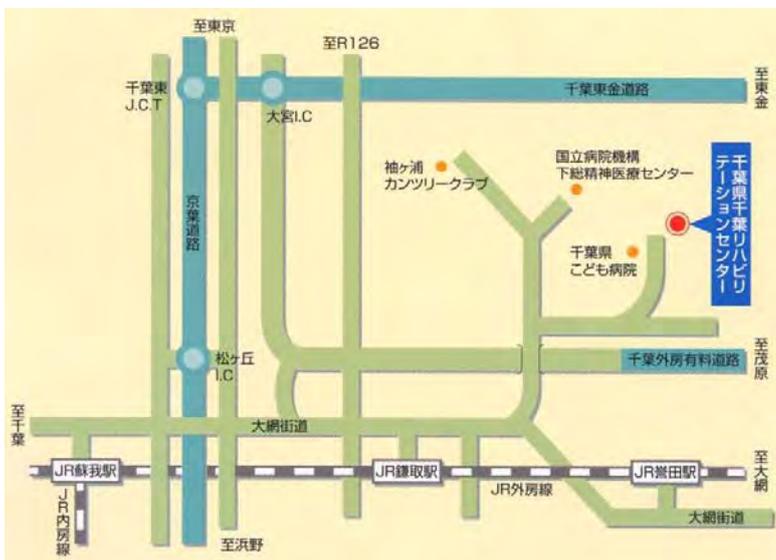
8月26日(金)に「第21回センター夏祭り」を開催いたしました。

この夏祭りは、利用者の皆様と職員が一体になって行う夏祭りで、地域に開かれたリハビリテーションセンターとして近隣の皆さまのご参加もいただいております。

大ホールでの太鼓・盆踊り、ボランティアの方々によるふれあいコンサートなどの各種催し物の他、かき氷や綿飴などの模擬店など、見ても参加しても楽しいことが盛りだくさんでした。

夏祭りに参加された皆様には、夏の日の一ときをお楽しみいただけたことと思います。

## センター案内図



## 第8回 高次脳機能障害リハビリテーション講習会 開催のお知らせ

第8回 高次脳機能障害リハビリテーション講習会

### 「高次脳機能障害者の自動車運転再開について」

●講演 13:10-14:40  
講師 ●蜂須賀 研二氏(はちすか けんじ) ●  
産業医科大学リハビリテーション医学講座 教授

●報告会 15:00-16:20  
～案内での運転再開への取り組みについて～  
期 日 香茅堂生業リハビリテーションセンター  
豊田メディアホールセンター  
コメント千葉運転免許センター他

2012年 1月14日(土) 13:00-16:20 千葉市文化センター (アートホール) 参加費無料

### 車の利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

### 電車・路線バス

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

## 無料送迎バスのご案内

(センター⇄JR鎌取駅 循環運行)

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

| 時  | 平日       | 土曜日   |
|----|----------|-------|
| 8  | 10 30 50 | 30 50 |
| 9  | 10 30 50 | 10 30 |
| 10 | 10 30 50 | 20 40 |
| 11 | 10 30 50 | 00 20 |
| 12 | 10 30 50 |       |
| 13 | 10 30 50 |       |
| 14 | 10 30 50 |       |
| 15 | 10 30 50 |       |
| 16 | 10 30 50 |       |
| 17 | 10 40    |       |

| 時  | 平日       | 土曜日      |
|----|----------|----------|
| 8  | 03 23 43 | 23 43    |
| 9  | 03 23 43 | 03 23    |
| 10 | 03 23 43 | 13 33 53 |
| 11 | 03 23 43 | 13       |
| 12 | 03 23 43 |          |
| 13 | 03 23 43 |          |
| 14 | 03 23 43 |          |
| 15 | 03 23 43 |          |
| 16 | 03 23 43 |          |
| 17 | 03 33    |          |

- ①センター送迎バス発着場所について  
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近  
(専用のバス停はございません)  
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について  
中型バス(黄色)・・・2名  
マイクロバス(水色)・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。